

家庭学習の手引き【中学生編】

1 家庭学習の目標

主体的な学習の定着化

基礎学力の定着・活用型学力の育成

自己マネジメント力の育成

2 家庭学習3ヵ条

第1条 自分なりの学び方を探し、身に付け、自ら進んで取り組みましょう。【主体的な学習の定着化】

授業内容の要点を整理し、問題演習することで学力 up につなげましょう。

第2条 「調べ」「考え」「書く」を中心とした活用型宿題に取り組み、思考・判断・表現力を高めましょう。

【基礎学力の定着・活用型学力の育成】

『授業』⇒『復習・予習』⇒『授業』⇒『復習・予習』⇒ ……

第3条 自分の学習と生活の実態を自覚し、目標を設定したり、進捗状況を確認したりして、自己学習を

改善しましょう。

【自己マネジメント力の育成】

3 家庭学習の取組について

① 学習環境の整備のために…スマホやマンガなど、気の散るようなものは近くに置かないようにしましょう。

② 家庭学習のとらえ方… 『家庭学習』 = 『宿題』 + 『自主学习』 + 『5分間復習 + 1分間予習』

- ・まず、『宿題』に取り組みましょう。
- ・次に『自主学习』に取り組みましょう。
- ・最後に、『5分間復習』 + 『1分間予習』に取り組みましょう。



③ - (1) 自主学习について

自主学习ノートを開きます。教科書やワークブックの問題、特に、分からなかった問題にチャレンジしましょう。学習の要点を整理し、理解を深めることが大切です。

③ - (2) 5分間復習 + 1分間予習について

5分間復習は教科書を開き、今日の授業の学習を振り返りながら、正しい知識と考え方を確かめます。

4 家庭学習の時間の目安について ☆最低限このくらいは学習しましょう！

	平日		休日	
中学1・2年生	1.5時間～		2時間～	
中学3年生	部活中	部活終了	部活中	部活終了
	1.5時間～	3時間～	2時間～	4時間～



※定期テスト前などは、このとおりではありません。

5 家に帰ってからの時間の使い方を見直しましょう！！

皆さんは、帰宅してからの時間をどのように使っていますか？食事、入浴、リビングでテレビをみながらまったりと……。部活動で疲れてしまい、なかなか学習にとりかかれないという人もいるかと思います。そこでもう一度、時間の使い方を見直してみましょう。学力向上には、毎日の学習の積み重ねが大切です。

「昨日やったから明日はやらない」ではなく、毎日決まった時間に学習に取り組めるよう心がけてみてください。「〇時になったら必ず始める」「2時間は必ずやる」など、目標を決めましょう。

★ 教科書・ドリルの問題をそのまま写して解いたり、練習したりする。

- 教科書の問題で自分がよく分からなかった問題や、間違った問題を解きながら、学習で大切なことを整理し、まとめる。

★★ 習ったことを使って、くり返し練習する。

国 語	数 学
○ 教科書に出てきた漢字の練習 ○ 言葉の意味調べ ○ 学習した漢字や言葉で短文作り ○ 教科書の文章を品詞分解する ○ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す ○ テストの間違い直し	○ ワークの計算練習 ○ 教科書の補充問題 ○ テストの間違い直し

★★★ 自分なりに考えたことをまとめたり、調べたりする。

国 語	数 学
○ 学習した表現技法を使い、短歌や俳句を作る ○ 新聞記事を読んで、自分の意見や考えを書く ○ 教科書に出てきた文学的文章を、人物の視点を変えてリライトする	○ 学習したやり方の他に、どんなやり方があるかまとめる ○ 問題の数字を変えて解いてみる

中学生の家庭学習は、高校入試を意識した学習を行うことが大切です！！
例えば、こんなやり方はいかがでしょう？



よしっ！今日はワークを使って数学の問題を解くぞ！

STEP 1 分からないところを探す

ワークの問題を解き、自分がどこを理解できていないのか、どこが分からないのかを把握します。

STEP 2 解説を読んで理解する

問題の解説を読み、解き方を理解します。その後、解説を見ないで問題を解いてみます。

STEP 3 人に聞く

解説を読んでも理解できなかった問題、解けなかった問題をチェックしておき、翌日学校で友人や先生に聞き、やり方を理解します。

「入試なんてまだ先のことだから、その時になってからやればいいや」「3年生になってからやろう」……
 そんなことを思っていないですか？それでは遅いのです！入試では、日々の学習の積み重ねの成果を見られます。
 自分の課題を把握し、弱点を改善できるようにしましょう。

○自主学习例Ⅰ（数学）【問題演習を行うとき】

★★

※ワークのページ数を記入

○/○() 数学 ワーク 多項式の計算

p 8 [5]

(1) $4x + 2y + x + 3y$
 $= 4x + x + 2y + 3y$
 $= 5x + 5y$

(2) $5a + 2b - 3a - 4b$
 $= 5a - 3a + 2b - 4b$
 $= 2a + 2b$
 $2a - 2b$

(3) $-7x + y + 3x - 4y$
 $= -7x + 3x + y - 4y$
 $= -4x - 3y$

p 8 [6]

(1) $4x^2 + 2x + x^2 + 3x$
 $= 4x^2 + x^2 + 2x + 3x$
 $= 5x^2 + 5x$

(2) $-3a^2 + 2a + 4a^2 - 6a$
 $= -3a^2 + 4a^2 + 2a - 6a$
 $= a^2 - 4a$

p 9 [7]

(1) ア、エ、オ (2) ア、ウ、オ (3) イとカ

「 x^2 」の前には「1」がついているのを忘れない！

「 $3x + 2y + x$ 」は1次式

「 $2 - 4$ 」
 $= -2$
 絶対値の大きい方の符号

「 $-4x - 3y$ 」
 $= -7 + 3 = -4$
 絶対値の大きい方の符号

左から順番に①学習した日付、②教科、③単元名や内容を書く。

間違った問題は、正しい答えだけでなく、「どうしてそうなるのか」を解説を見て確認する。
 正しい考え方と注意するポイントを書き残しておく。

☆ 取り組みのポイント

- できるだけ多くの問題を解くために、問題文は書かない。なるべく多くの問題を解くことを心がける。
- 間違っただけ覚えてしまわないように、必ず丸付けをする。
- 間違えた問題や分からなかった問題は、途中の考え方を解説で確認し、正しい考え方や解き方を身に付ける。そして、同じ間違いをしないようにする。

○自主学习例Ⅱ（数学）【授業の振り返りをするとき】

★

※教科書のページ数を記入

○/○() 数学 授業の復習 多項式の計算

p 12 ② 多項式の次数はどうやって決まるの？

<次数について>

- 単項式でかけられている文字の個数を、その式の 次数 という。
- 多項式では、各項の次数のうちでもっとも大きいものを、その多項式の 次数 という。
- 次数が1の式を 1次式、次数が2の式を 2次式 という。

☆ 授業で間違った問題

p 12 問2 (2) $\frac{1}{2}x^2y^3$ → 6次式 (気づき)

5次式

- ・ 2と3をかけて、6にしてしまった
- ・ xが2個、yが3個だから合わせて5個
- ・ なので、5次式

p 13 問3 (2) $-4x + y$ → 2次式 (気づき)

1次式

- ・ 多項式は、項を別々に見て考える。
- ・ $-4x$ の次数は1、 y の次数は1
- ・ 1番大きい次数が1だから1次式

左から順番に①学習した日付、②教科、③単元名や内容を書く。

授業で「間違ったところ」「分からなかったところ」を書き出し、教科書を使って振り返る。間違った理由や正しい考え方を（気づき）に記入する。

☆ 取り組みのポイント

- 授業のノート、教科書を見返しながら、取り組む。
- 考え直しても分からない内容には印をつけておき、先生や友達に聞いて解決する。
- 分かったつもりにならず、疑問があれば、書いて残しておく。

十月十九日(土) 14:00 ~ 15:30

④ 敬語を使い分けよう。

敬語の種類

話題の中の人物や、聞き手への敬意を表したもの。

尊敬する気持ち

① 尊敬語

動作をする人に対して敬意を表す敬語。

② 謙譲語

自分を低い者として相手に対して控えめな態度をとること。
話し手がへりくだること、動作が向かう相手に対する敬意を表す敬語。

③ 丁寧語

丁寧な言葉づかいによって、敬意を表す敬語。

④ 例文を作りよう

・その件について、大臣が話しになる。

・明日、先生がいらすしやる。

・名前をお呼びするまで、こちらでお待ちください。

・先生の絵を拝見する。

・これは、貴重な本です。

・プリントは、机の上にあります。

・こちらがお探しの品でございます。

・学校からのプリントを、父がご覧になった。



七月三日(日) 9:00 ~ 10:30

④ 動詞の活用をマスターしよう。

五段活用...五つの段にわたって活用。

飲む	語幹	未	用	終	体	仮	命
か	の	ま	み	む	む	め	め
飲む	の	ま	み	む	む	め	め
飲む	の	ま	み	む	む	め	め
飲む	の	ま	み	む	む	め	め
飲む	の	ま	み	む	む	め	め
飲む	の	ま	み	む	む	め	め
飲む	の	ま	み	む	む	め	め

上二段活用...イ段だけで活用。

起きる	語幹	未	用	終	体	仮	命
お	き	き	き	き	き	き	き
起きる	お	き	き	き	き	き	き
起きる	お	き	き	き	き	き	き
起きる	お	き	き	き	き	き	き
起きる	お	き	き	き	き	き	き
起きる	お	き	き	き	き	き	き
起きる	お	き	き	き	き	き	き

下二段活用...エ段だけで活用。

負ける	語幹	未	用	終	体	仮	命
ま	け	け	け	け	け	け	け
負ける	ま	け	け	け	け	け	け
負ける	ま	け	け	け	け	け	け
負ける	ま	け	け	け	け	け	け
負ける	ま	け	け	け	け	け	け
負ける	ま	け	け	け	け	け	け
負ける	ま	け	け	け	け	け	け

カ行変格活用...来るのみ

来る	語幹	未	用	終	体	仮	命
来	く	き	くる	くる	くる	くる	くる
来る	来	き	くる	くる	くる	くる	くる
来る	来	き	くる	くる	くる	くる	くる
来る	来	き	くる	くる	くる	くる	くる
来る	来	き	くる	くる	くる	くる	くる
来る	来	き	くる	くる	くる	くる	くる
来る	来	き	くる	くる	くる	くる	くる

サ行変格活用...複合動詞も

する	語幹	未	用	終	体	仮	命
さ	せ	し	する	する	する	する	する
する	さ	せ	し	する	する	する	する
する	さ	せ	し	する	する	する	する
する	さ	せ	し	する	する	する	する
する	さ	せ	し	する	する	する	する
する	さ	せ	し	する	する	する	する
する	さ	せ	し	する	する	する	する

活用の種類と活用形を答えなさい。

① この本は借りない。

(上二段活用・未然形)

② 練習をすれば上手になる。

(サ行変格活用・仮定形)

③ 遅れてバスが来た。

(カ行変格活用・連用形)

④ 話す人はいい。

(五段活用・連体形)

⑤ 窓を開けろ。

(下二段活用・命令形)

⑤ 五段上・下二を判別する時は、動詞の原形に「ない」とつけて判別する。

⑥ 自分で問題を作り、活用表を確認しながら解くことができた。

8月15日(水)
10:00~11:30

㉔ 一般動詞の過去形を使い、文を作ろう。

原形	過去形	例文
play (振、演奏する)	played (した、演奏した)	I played soccer last week. (私は先週サッカーをした。)
want (ほしい)	wanted (ほしかった)	I wanted new pen. (私は新しいペンがほしかった。)
use (使う)	used (使った)	I used this smartphone. (私はこのスマートフォンを使った。)
study (勉強する)	studied (勉強した)	He studied English yesterday. (彼は昨日英語を勉強した。)
go (行く)	went (行った)	She went to hospital last month. (彼女は先月病院へ行った。)
make (作る)	made (作った)	My mother made breakfast. (私の母は朝食を作った。)

㉕ 確認しよう！

次の()にめてはまる単語を書きなさい。

① 私は昨日兄とテニスをしました。

I (played) tennis with my brother yesterday.

② 私は今朝緑茶を買いました。

I (bought) green tea this morning.

③ 彼はあの車を運転しました。

He (drove) that car.

㉖ 一般動詞を過去形にするには… 不規則に変化

① 語尾に「ed」をつける。 するものもめ

② 「y」を「i」に変えて「ed」をつける。 るので注意!!

㉗ 不規則に変化する動詞をし、かりと覚えて、テストで間違えないようにしたい。

6月3日(水)
19:00~20:30

㉘ 経験を表す現在完了形の文をマスターしよう。

～授業でや、たこと～

㉙ 肯定文

I have visited Okinawa once. 「1回」
(私は沖縄を1回訪れたことがあります。)

㉚ 疑問文

Have you ever visited Okinawa?
(あなたは今までに沖縄を訪れたことがありますか?)
— Yes, I have. / No, I haven't.
(はい、あります。 / いいえ、ありません。)

㉛ 否定文

I have never visited Okinawa.
(私は沖縄を1度も訪れたことはありません。)

～例文を作ろう～

- I have seen dolphins many times. (私はイルカを何回も見たことがあります。)
- Ken has lived in Tokyo before. (ケンはいずれ東京に住んでいたことがあります。)
- Have you ever talked with him? (あなたは今までに彼と話したことがありますか?)
Yes, I have. (はい、あります。)
- Has she ever read the book? (彼女は今までにその本を読んだことがありますか?)
No, she hasn't. (いいえ、ありません。)
- I have never played tennis. (私は一度もテニスをしたことはありません。)
- Yumi has never eaten melon. (ユミは一度もメロンを食べたことはありません。)

㉜ Have(Has) + 過去分詞 → 「～したことがある」

Have(Has) + 主語 + 過去分詞 + ～? → 「～したことがありますか？」

主語 + have(has) + never + 過去分詞 + ～ → 「一度も～したことはありません」

㉝ 文の構成に気をつけながら、例文を作ることにできた。